

## スポーツ健康科学専攻

### 人材養成および教育研究上の目的

スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻は、運動、スポーツ、レクリエーション、レジャー、体育、健康、福祉等を対象とする学問の深化を図り、健康長寿社会の実現に向けて貢献し、高度なスポーツ知を拓く研究科として機能することを教育理念とする。博士課程前期では、競技スポーツ・学校体育・地域スポーツ・医療等の指導現場において高度な知識と技術を基に、体育・スポーツ・健康・レクリエーションに関する科学的指導を実践・応用できる専門家の養成を行う。博士課程後期では、健康増進や疾病・傷害の治療・予防・再発防止を目的とした運動プログラムの開発・実践に関する研究や、幼少期から高齢期に至るライフステージに応じたスポーツパフォーマンスの向上を目的とした研究などの専門的な領域について自立して研究活動を行い得る研究者を養成する。

### 三つのポリシー

#### ❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科は、博士課程前期では、指導現場において科学的指導を実践・応用できる人材を育成するという観点から、

- 1) スポーツや運動を科学的観点から研究することに興味のある人
- 2) 競技スポーツにおいてパフォーマンスを向上させる科学的方法に興味のある人
- 3) 教育の現場でより高度な科学的成果を取り入れようとしている人
- 4) 医療現場で運動により健康の維持や疾病の予防しようとする人

の入学を求めている。また、博士課程後期では、高等教育機関あるいは研究機関において独立して研究できる人材を育成するという観点から、

- 1) 基礎的な学力を有し、創造的で柔軟な発想を持ち、研究を遂行することができる人
- 2) 博士課程前期では十分な研究成果を得られず、研究を継続することを望む人
- 3) 医療や健康増進に強い熱意がある人
- 4) 広く自分の研究成果を国外にも発信したい人
- 5) スポーツ・体育分野の出身者以外にもスポーツや健康を科学的に研究することに興味のある人

の入学を求めている。

そのため、体育、体育・スポーツ科学関連学部の卒業生のみならず、広範囲からの領域の学生の受け入れを目指している。特に、社会人や外国人は積極的に受け入れる。



#### ❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

博士課程前期では、各自の専門性を高めるために、各部門ごとに「特別研究」と「特講」などの専修科目を設置し、同時に、関連する領域の知識の獲得を意図した非専修科目を配置している。特に、スポーツ医学部門では講義科目と対応した実習科目が用意されている。さらに、論文指導教員全員によるオムニバス形式の科目は部門の枠を越えて幅広い知識の獲得を目指している。

博士課程後期では、博士論文指導を目的とした「特別研究」以外にも、全論文指導教員および論文指導補助教員によるオムニバス形式の科目を配置し、基本的なリサーチメソッドの獲得に資している。

#### ❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

博士課程前期では、福岡大学大学院学則に定める必要な事項を充足した上で、以下の能力を有することを学位授与の要件とする。

- (1) スポーツ健康科学分野の研究内容を論理的に修士論文としてまとめる能力。
- (2) 修士論文の研究の背景、目的、方法、結果およびその意義を説明する能力。
- (3) スポーツ健康科学分野の指導現場において、科学的根拠に基づく先進的指導を実践・応用する能力。

博士課程後期では、福岡大学大学院学則に定める必要な事項を充足した上で、以下の能力を有することを学位授与の要件とする。

- (1) スポーツ健康科学分野の研究内容を論理的に博士論文としてまとめる能力。
- (2) 博士論文の研究の背景、目的、方法、結果およびその意義を説明する能力。
- (3) スポーツ健康科学分野の高等教育機関あるいは研究機関において、自立して研究活動を遂行する能力。